

平成30年度
あまのくらし部会 実施報告

令和元年5月28日

1

あまのくらし部会の役割

障がいのある人の地域生活を支援するための課題等について協議します。

あまのくらし部会では、災害時にも生きる地域のネットワークづくり、親の高齢化に伴う障がいのある人の自立生活や相談支援体制の整備などについて取り組んでいます。

2

今年度の取り組み

○「住まい方を知ろう」（学習会・見学会）

昨年度の「ふれぼの」見学に続き、障害福祉サービス（グループホーム等）以外の住まい方や、尼崎市のグループホーム等の現状について学び、障害者の尼崎市での自立生活を考える

- ・「NPO法人れん」活動を聞く
～シェアハウス・体験ハウス見学～
- ・「リレくらしサポートセンター」活動を聞く

今年度の取り組み

○あまのくらし部会フォーラム

「障害者の地域での自立生活を考える
～それぞれの暮らし、それぞれの思いを語る～」
の開催

部会の開催と協議内容

I) 前年度の振り返りと今年度の取り組みを考えた時期

- 自立支援協議会 全体会（平成30年5月25日）
平成30年度 あまのくらし部会 実施報告
- 第1回（平成30年5月29日）～第3回（平成30年7月10日）
※部会長：高尾氏、副部会長：守部氏、田中氏
昨年度の取り組みと、今年度の取り組みの意見を出し合う

部会の開催と協議内容

○今年度のテーマについて

- 住まいについて
シェアハウスなど、既存の障害福祉サービスではない形の住まい方もある、今後見学などしていきたい
- マップについて
今までのフォーラム等で積み重ねてきたことの成果物として、生活に役立つマップを作りたい
⇒年度をまたいでもいいので、ゆっくり検討していく
- フォーラムについて
当事者が来たいと思えるフォーラムへ、いろいろな住まい方を語ってもらおう、知ってもらおう

部会の開催と協議内容

Ⅱ) フォーラムに取り組んだ時期

- 第4回（平成30年8月21日）～第7回（平成30年11月13日）
 - フォーラムについて、発表者、場所や日程などを相談
 - フォーラムの大まかな進行や内容、広報などを相談
 - フォーラム当日の具体的打ち合わせ
（あまのくらし部会フォーラム 平成30年11月29日）

部会の開催と協議内容

Ⅲ) 住まい方やグループホーム等の現状について学び、今年度の総括をした時期①

- 第8回（平成30年12月11日）～第11回（平成31年3月12日）

- フォーラムの振り返り、今年度のまとめと来年度の取り組みについて「NPO法人れん」のシェアハウス・体験ハウスの活動を聞き、見学する（※2月8日と18日に分かれて見学会実施）
 - 制度外であることで自由度が高い＝運営が大変
 - いろんなことに使える場、体験できる場が尼崎にもほしい！
 - 既存の建物でもあり、バリアフリーではない、医療的ケアが必要な人の利用できる場所は、本当に少ない

部会の開催と協議内容

Ⅲ)住まい方やグループホーム等の現状について学び、今年度の総括をした時期②

○「リレくらしサポートセンター」の活動を聞く

- ・尼崎市内のグループホーム等の情報集約やスムーズな利用に向けて「リレくらしサポートセンター」が設置された
- ・グループホームが増えているが、知的障害の方対象が多い
- ・医療的ケアが必要な人のグループホームは少ない
- ・今後は、生活介護事業所の情報集約をしていく予定

あまのくらし部会フォーラム

「障害者の地域での自立生活を考える

～それぞれの暮らし、それぞれの思いを語る～」の開催

日時：平成30年11月29日（木）13：30～15：30

場所：尼崎市立中央公民館 大ホール他

参加：185名（内訳は別記）

あまのくらし部会フォーラム

- ・当事者が参加しやすく、障害者のいろいろな住まい方について知ってもらえるように考えた。
- ・1部では、知的・身体・精神障害を持ち、見守りのある住宅、単身生活、夫婦での生活と、住まい方の違う方に生活の様子をお話しいただいた。
- ・2部では部屋を分けて、それぞれの当事者が参加者からの質問に思いを語り、障害者の地域での自立生活を考えた。

あまのくらし部会フォーラム第1部の様子



あまのくらし部会フォーラム

○アンケートより①

- 当事者の話を聞くことができてよかった、現状をよく理解できた、わかりやすかった。勉強になった。感動した。
- いろいろな生き方、自立のあり方を聞いてよかった、生活の具体的な工夫なども聞いてよかった。
- 障害者としてではなく個人として接することが大切だと思った。
⇒今後も当事者の話を聞いたり質問できるように、様々なテーマでフォーラムを開催する

あまのくらし部会フォーラム

○アンケートより②

- 民生委員の方が多く参加されていてよかった。
多くの民生委員の方が活動されていることを知ることができた。
- 自立支援協議会の意味が少しわかった気がする。
⇒地域に密着して、横のつながりをいろいろなテーマで共有していきたい。

あまのくらし部会フォーラム第2部の様子



15

あまのくらし部会フォーラム

○部会の振り返りより

- 多数参加いただいた民生委員の方から、くらしの様子がよくわかり、直接ふれあうことができるよい機会だったと感想あり。
- いろいろな生活があるのだと、当事者・家族はじめ、多くの人に知ってもらうことができた。
- 会場について、障害者が集まる場として、トイレや避難経路などにもっと配慮が必要。

16

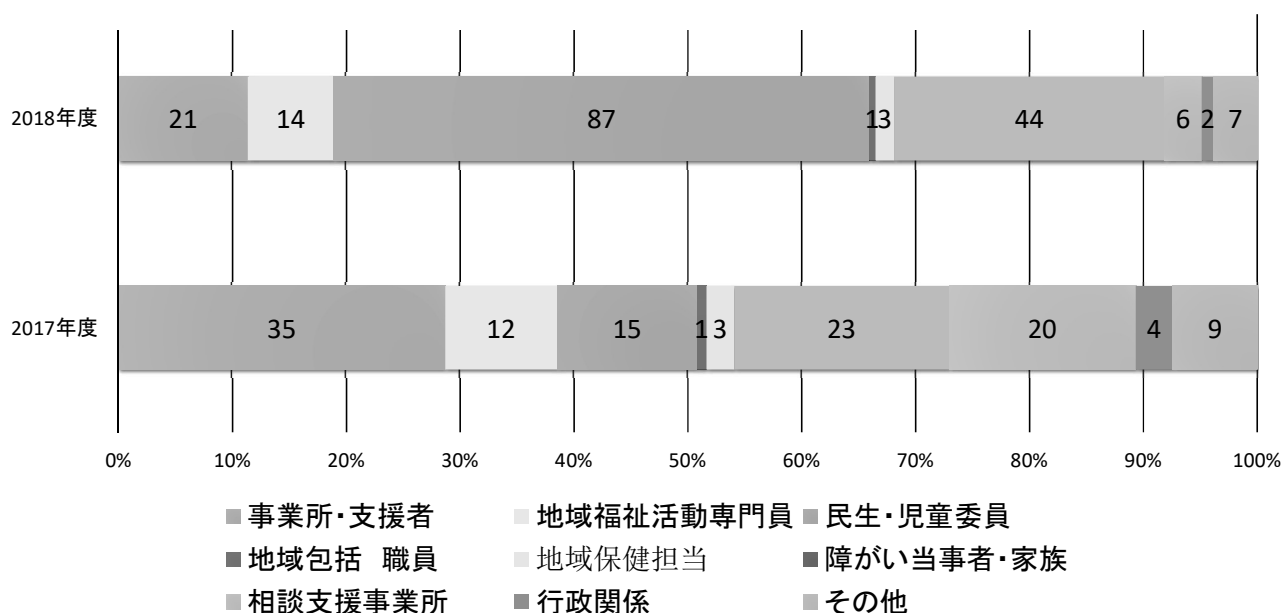
あまのくらし部会フォーラム

○年度別参加者の内訳（人数）

参加者の内訳	2017年度	2018年度
事業所・支援者	35	21
地域福祉活動専門員	12	14
民生・児童委員	15	87
地域包括 職員	1	1
地域保健担当	3	3
障がい当事者・家族	23	44
相談支援事業所	20	6
行政関係	4	2
その他	9	7
合計	122	185

あまのくらし部会フォーラム

○年度別参加者の内訳（グラフ）



今後に向けて

- 「住まい方」について学んだことをもとに、尼崎での暮らしに必要なものを考える。
- 当事者の話が聞ける、あまのくらし部会フォーラムの開催を継続し、民生委員をはじめ地域の方々と地域でつながる仕掛けづくりを考える。

※尚、平成30年度当初に取り組もうとしたマップづくりは、様々な障害のニーズに対応し、変化する街の情報をタイムリーに網羅することは難しく、くらし部会で取り組むことは難しいと協議した